



横山幹子 Mikiko YOKOYAMA

准教授 Associate Professor

博士(人文科学) Ph.D.

Keywords: 知識・知覚・存在・哲学と図書館情報学

Contact: mikiko@slis.tsukuba.ac.jp



筑波大学
University of Tsukuba

Graduate School of Library, Information and Media Studies

www.slis.tsukuba.ac.jp

研究概要

分析哲学的アプローチにより、「知識とは何か」・「知識は客観的なものでありうるのか」・「どのようなときに知識は共有されるのか」等の問題を考察しています。それらの研究領域において現在特に関心のある問題は、大きく分けて三つあります。一つ目は、知覚的経験がわれわれを欺くことがあるにもかかわらず、われわれが客観的な知識を得ることができると考えるためには、知覚的経験についてどのように考えなければならないかという問題です。それは、知識に対する懐疑

論にどう答えるかという問題とも関係しています。二つ目は、科学的世界観と常識的世界観の両方を受け入れることのできるような存在論はどのようなものなのかを考えるという問題です。それに関しては、近年亡くなったアメリカの哲学者であるパトナムの思想の検討を手掛かりに考えています。三つ目は、そのような知識や存在についてのさまざまな考えと図書館情報学の関係を考察することです。これらの諸問題について現在研究しています。

研究とキーワードの関係

現在の関心	キーワード
客観的な知識を得ることができると考えるためには（もしくは、懐疑論に応えるためには）、知覚的経験についてどのように考えなければならないか	知識・知覚
科学的世界観と常識的世界観の両方を受け入れることのできるような存在論（パトナムの思想の検討）	存在
知識や存在についてのさまざまな哲学的考えと図書館情報学の関係の考察（知識論や存在論と図書館情報学の関係）	知識・存在 哲学と図書館情報学

論文

- 1) 真正な知覚的経験と神経活動. 図書館情報メディア研究 2016. vol. 14, no. 2, 2017, p.1-13.
- 2) 「幻覚からの議論」: 拡張段階と局所的付随性の原則. 図書館情報メディア研究 2015. vol. 13, no. 2, 2018, p.1-13.
- 3) 哲学と図書館情報学の関係: 図書館情報学における哲学に関する英語論文を基に. Library and Information Science. vol. 71, no. 1, 2014, p. 75-97.
- 4) 合理的受容可能性と真理. 科学基礎論研究. vol. 35, no. 1, 2007, p. 1-9.
- 5) 知識と実在論: パトナムの場合. 図書館情報メディア研究 2003. vol. 1, no. 1, 2003, p.11-22.

社会貢献活動

非会員にも公開される学会の大会（日本哲学会・日本科学哲学会・科学基礎論学会等）に於ける発表、web上で閲覧可能な雑誌への論文掲載、啓蒙的図書への寄稿等によって、研究成果を社会に発信しています。また、非会員にも公開される学会の大会の個人発表において司会を務めること、本務校以外で講義をすること等によって、複雑になってくる現代社会において重要となる、哲学的・論理的なものの考え方を普及することによって、社会に貢献しています。

メッセージ

皆さんは、哲学的な視点からの研究と聞くと、それは、抽象的で、われわれの日常生活には何の関係もないのではないかと思うかも知れません。しかし、そのようなことはありません。知識の定義・知識の客観性・知識の共有の問題は、われわれの日常生活とも関係のある問題です。また、図書館情報学は知識を扱う学問であり、知識に関して哲学的な視点で考えることは、図書館情報学とも密接に関係しています。興味を持っていただけると幸いです。

関連情報サイト

- 1) <http://philosophy-japan.org/>
- 2) <http://pssj.info/>
- 3) <http://phsc.jp/>